

研究課題名「胃癌の術後合併症、予後因子、及び Quality of life に与える影響に関する多施設共同データベース研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、2019 年 1 月から 2023 年 12 月の間に、名古屋大学医学部附属病院または 5. 研究組織に記載の機関で胃癌に対して胃切除術が施行された患者さんです。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

本研究では、多施設共同研究による大規模かつ近年の胃癌切除術データを解析することで、胃癌の術後合併症予測因子および予後予測因子の検討を行うことを目的とします。

研究方法：

各施設で診療データを収集して電子ファイルに記入します。収集された診療データは匿名化を行なったのちに研究事務局へ集約します。その後、主として術後合併症発生、再発予後、化学療法忍容性、術後 QOL への各種パラメーターの相関性を評価します。これにより、術後合併症予測因子や予後予測因子を提案し、その臨床的有用性を示す予定です。また、以前の共同研究において見出された因子の妥当性の検証も行います。本研究によって得られた診療データは、新たな因子の同定にも活用します。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦）2030 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、性別、身長、体重、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、術前・術後の採血結果等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データは個人情報かわからない状態にしたものを提供し、対照表は各施設の研究責任者が施錠可能な保管庫で保管・管理します。

5. 研究組織

愛知県がんセンター中央病院消化器外科・医長・三澤一成

岡崎市民病院外科・内視鏡外科部長・石山聡治
海南病院外科・第四消化器外科部長・林正吾
名古屋医療センター外科・医長・服部正嗣
市立四日市病院外科・副部長・寺本仁
小牧市民病院外科・部長・望月能成
一宮市立市民病院外科・医長・笹原正寛
江南厚生病院外科・第一外科部長・田中友理
公立陶生病院外科・部長・松下英信
県立多治見病院外科・部長・渡邊卓哉
豊田厚生病院外科・代表部長・井上昌也
豊橋市民病院一般外科・第一部長・深谷昌秀
安城更生病院外科・代表部長・植村則久
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院一般消化器外科・副部長・尾辻英彦
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院一般消化器外科・第三部長・吉岡裕一郎
名古屋掖済会病院外科・部長・川上次郎
久留米大学医療検査学科・教授 室谷健太

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：

〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科

杉田静紀

TEL：052-741-2111(代表)

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 神田光郎

研究代表者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 神田光郎